

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227  
広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781  
<http://www6.ocn.ne.jp/~nakabc/omc-news/kaiho.htm>

平成27年10月(2015年)No 598

## 盛会だった

### 第55回OMCフェスティバル

今年の9月はシルバーウィークとかで5連休があり、その始めの頃の発表会だったので、観客が旅行や行楽、お祭り等にて映写会に来られる方が少ないのではないかと懸念されましたが、実際には定刻前より続々と観客が来場され、会場ほぼ一杯の盛会となりほっとしました。およそ200名強の入場者がありました。

開場前に「ビデオ何でも相談会」を開きましたが、相談者が少なくいささか期待はずれに終わりました。しかしこれで一人でも会への入会につながればこれはこれで意義があったと思います。

運営の方は、関、江村、進藤の各映写担当者にプロジェクターご提供の黒田先生、会場設営と照明担当には河合、森口氏をはじめ多くの会員諸氏が協力し合って円滑な運営のもと無事終了したこと、会員諸氏に深く感謝いたします。観客の評価も良かったように思いました。

#### ■遠路ご来場いただいた映像関係者

- ・東京アマチュア映像連盟会長 鹿島隆雄様
- ・日本アマチュア映像作家連盟副会長 吉田瑞穂 夫妻様
- ・四日市シネクラブ会長 門脇 篤 夫妻様

#### ■祝電を頂戴した方々

- ・東京映像会長 古城和明様
- ・銚子映像クラブ会長 石毛文男様
- ・京都アマ連盟会長 中嶋 哲様
- ・寝屋川市映像協会会長 竹田幸男様
- ・映像神奈川名誉会長 金子豊一様
- ・同左顧問 金子喜代子様
- ・吉岡映像(株) 吉岡博行様

### 10月例会のお知らせ

- 第2例会:第3木曜15日13時より研究会 15時10分より一般作品上映  
今月の研究会は「音」に関する幅広いテーマで関世話役が講師です。  
テキストとパソコンを使った講義があり、ぜひ受講をお勧めします。
- 通常例会:第4土曜24日の18時より、いずれも大阪市立難波市民学習センター  
(JR難波 OCATビル4階) 秋本番いい季節を迎えています。同じ趣味仲間同志、  
楽しいひとときを過ごしましょう。

■予告：12月通常例会日26日は、13時から幹事会、15時より世話役会（元OVC世話役でOMCに入られた方も含む）を開催、18時から今年最後の通常例会です。

予告：1月例会は、例年ですと第3日曜日の午後例会をやって、夜は新年会を開催していましたが、平成28年1月通常例会は第4土曜23日13時より開催、17時より5階のレストランで新年会を行います。いずれもよろしくご予定ください

#### 第4回懐かしの映像を楽しむ会

10月16日（金）13時より難波市民学習センター講堂で開催。皆さんぜひお越し下さい。実際にフィルム映写機も登場。

#### ■第19回大阪アマチュア映像祭

11月1日（日）13時より大阪市立中央図書館5階大会議室にて、プログラム同封

## 9月通常例会レポート

今月の司会は合原氏、書記、前田氏、映写係、井上、河合の両氏、録画、江村氏、掲示、紙本氏、受付兼照明係は宮崎、華岡の両氏、以上の皆さんの担当で運営しました。

■出席：有村、赤澤、井上、江村、岡本、紙本、河合、黒田、合原、進藤、柴辻、関、高瀬、坪井、野田、華岡、前田、宮崎、森下、森田、森口、山本、吉村の23氏と作品14本。

■作品上映（講評は前田世話役）

#### 1. 余部新橋(BD)

江村一郎 8分00秒

今年の正月に雪が降り、海も荒れたので行ってきましたとの作品。余部橋梁は当然ながら新橋のコンクリート橋がメインですが、旧鉄橋も幾度も紹介されます。その編集スタイルが時系列を超越した作者の感覚的な編集で、少し頭の中が混乱しますが、これが江村流といわれる編集スタイルと思います。また突如BGMに太鼓の音が被さってきますが、このミスマッチが時には肯定されることもあるとのコメントもありました。画の構図やカット繋ぎは作者らしい特徴がよく出ていました。

#### 2. 華西街観光夜市点描(BD)

前田茂夫 8分09秒

昨年3月にクラブのお仲間3名に同行してもらって台北で撮って来た旅の記録作品。筆者が幼少の頃過ごしたのは旧臺北城内でしたが、この撮影地は城外の有名寺院（龍山寺）のすぐ側の大きな夜市。台湾には市街のあちこちに大きな夜市が立ちどこも賑わっています。

#### 3. 廃線ぶらり歩きNo.3(BD)

紙本 勝 9分50秒

JR福知山線の武田尾から生瀬駅までの武庫川中流は昭和61年に線路が付け替えられ旧線を歩くことが出来るようになっていきます。JR西の所有物で正式なハイキングコースにはなっていないようです。廃線跡ですからレールは撤去されているものの、枕木は残されており、かつて汽車が走ったであろう情景や新緑の溪谷美を十分に味あわせてくれます。正式なハイキングコースでないということは万が一の事故発生の場合は自己責任だそうで、その趣旨を書いた立て看板が印象的です。6つのトンネルがありますが、中は暗いので懐中電灯は必携です。一般的に廃線跡は地域住民にとって不便となり暗いものとなりますが、ここは線路が直線になって運行時間が短縮され、いいこと尽くめの廃線跡です。明るい素敵な作品でした。

#### 4. 湯囃し花祭り序章(BD)

河合源七郎 13分42秒

愛知県の北端、静岡県との県境に近い所にある奥三河東栄町御園等3ヶ町村15集落に古くから伝わる「湯囃し花祭り」の第1回目の作品を序章として作ってこられました。これから何度も見せて下さるであろうお祭りですが、発生について明らかにする記録や資料が残っていないため不明だそうです。一説によると700年の歴史があるとも云われているようです。花祭りとは、舞子といって衣装を身にまとった人が太鼓と笛の音に舞いますが、周囲にいる村人たちがはやし立てたり、気合を入れたりして盛り上ります。祭りの次第

は沢山あります。赤い櫛鬼が登場して舞う様も迫力があり「て～ほへ・てほへ」と掛け声を掛けて盛り上げます。夜通し続けられた祭りも翌朝にお湯をお互いに観客にまでかけ合う「湯囃し」行事が行われクライマックスになります。村人たちの意気込みと熱意が伝わってくる日本の古典的な祭りの原型ではないかと思いました。

## 5. コーニュ村を訪ねて (BD)

華岡 汪 8分47秒

イタリア北西部の一番奥にある村でフランスに近い所だそうです。アルプスの南側にある地形から風光明媚なリゾート地で春夏秋冬賑わいを見せる村です。訪れた日は天気がよく見事な眺望を見せてくれています。これまでもイタリア北部では漁村など珍しい風景を見せてくれましたが、今回は雄大なアルプスを目前にみられる美しい景観を楽しみました。アルプス越えてフランスに通じる要衝の州都アオスタには凱旋門やローマ劇場も残されており歴史を感じる町の雰囲気も漂ってきます。いつもヨーロッパの珍しい風景を見せてくれますが、今回もアルプスに囲まれたイタリアの観光地を楽しみました。

## 6. 冬のオブジェ (BD)

有村 博 4分05秒

今月17日の第2例会で同様の手法の作品を見せてもらいました。ここではオブジェとは自然の造形物の意味で捉えられています。かつて元気な頃冬山を駆け巡って撮った4:3の映像を何とかして16:9の作品にしたいとって作られた2本のうちの1作品です。16:9の画面の中に4:3の映像を2本左右に入れ込んで新しい映像表現をしようとする実験的作品です。かつての4:3映像もこんな使い方をすれば作品になるのか、と勉強になりました。綺麗な樹氷・霧氷の映像を鑑賞出来ました。

## 7. 湖北花紀行 (BD)

森口吉正 9分25秒

琵琶湖の北端の港町海津の郷は北陸と京都を結ぶ交通の要衝でした。このルートは鯖街道の一つともいわれてい

ます。昭和11年に湖北、大崎トンネル竣工記念に植えられた海津大崎の桜の名所を訪ねられました。見事な桜並木が湖岸に続きます。映像はさらに奥の西浅井町を訪ねます。ここ大浦にある丸子船の館では江戸時代に活躍した丸子船も展示されています。さらに奥の菅浦の郷は昭和46年まで道路（奥琵琶湖パークウェイ）がなく船でしか行けなかった集落も紹介されます。琵琶湖の北端には嘗てひっそりと佇む秘境がありました。いつもながらの独特のしっとりとした名調子で語られ落ちついた風情のある紀行作品でした。

## 8. アンマン周辺のギリシャ遺跡

(BD) 山本正夢 8分04秒

今回はヨルダンの首都アンマン周辺にあるギリシャ遺跡の訪問記です。ヨルダンとは何処にあるのかと、Google Mapで探したら西はイスラエル、北はシリア、東はイラク、南はサウジアラビアと国境接している難しい地理的条件の国です。ここには目を奪われるような素晴らしいギリシャ遺跡がありました。ジェラシュ遺跡とって2世紀にローマの属州になり、東西交易で栄えました。しかし746年の地震で崩壊し、史跡の北側は町の地下に埋もれているとテロップにあります。広い戦車・競馬競技場、ゼウス神殿、列中広場、大聖堂、6000人収容できる大劇場等が残されており見事な遺跡群です。他にも貴重な遺跡がありさぞ繁栄していたのであろうと偲ばれます。いつも山本作品は未知な映像を見せてもらって楽しみにしています。

## 9. アーカイブ歌謡劇場 (BD)

柴辻英一 7分00秒

副題に「歌は世につれ 世は歌につれ」とあります。導入部はでハイビジョンで岸和田の「だんじり祭り」を紹介し、泉州女を歌った歌謡映画に繋がります。歌 大月みやこ「泉州恋女房」をバックに男女素人俳優の演じる歌謡ドラマが8ミリ映像で展開されていきます。勿論、作 演出は柴辻さんです。ロケ地は岸和田城内でだんじり祭りの情景を散りばめながら進行していきま

す。歌謡映画が終わってからハイビジョンでお城の終結部に繋がり「この地域ではだんじり祭りが済むと、次の日から来年の準備に取り掛かるとか、夢は夢を呼び澄み渡った青空に大きく広がっていくようです。」と、結んでいます。柴辻さんらしい構成のうまさを感じられる作品ですとのコメントがありました。

#### 10. 蓮見会 (BD)

宮崎紀代子 12分20秒

富田林加太の龍雲寺に伝わる蓮見会を紹介してくれます。夏の暑さを凌ぐ暑気払いの一つとして大変親しまれています。以前はお寺だけで開いていましたが、今は老人会がお手伝いをするようになって段々に広く親しまれるようになってきたそうです。蓮の大きな花と葉は見事です。「蓮」という字は草冠に連なるという字を当てているように「切っても切れない糸を引く」というそうです。葉と茎には空気を通す管があり、この空気の通り道からレンコンに酸素を送り大きく育つそうです。最後は象鼻杯という葉にお酒を注ぎ茎から味わうというメイン行事です。ここではお酒だけではなく、お茶、ビール、焼酎、ミネラルウォーター等を振舞っています。ほのぼのとした心安らぐ作品でした。

#### 11. 風の記憶 (BD)

坪井仁志 5分45秒

風がそよぎ、木の葉はゆれて風が吹いていることが感じられます。古墳公園に再現された埴輪や古代の復元住居があります。高槻の今城塚古墳公園で行われた撮影会作品だそうです。立地は周囲が団地で余分なものが写りこみ撮影には苦勞されたことでしょう。風という目に見えないものを表現するには、風にそよぐ木の葉等ですが、展示物では風を感じられず、難しいテーマに挑戦したものと思います。木の葉のアップがワンシーンしか出なかったのですが、もっと沢山撮って動かない屋外展示物にインサートして風を感じるようにしたらどうだったかな、と思いました。抽象風作品としては風を感じるアップがもっと欲しかったと思いま

した。坪井さんらしい抽象風作品で作者の特徴がよく出ていました。

#### 12. 塩郷吊橋と大井川SL (BD)

赤澤與三郎 5分29秒

大井川鉄道に行って撮られた作品。大井川線の中ほどにある塩郷駅のすぐ側にある大きな吊橋から始まります。家山駅ではC5644が登場します。この蒸機は戦時中はタイで活躍していました。SL観光列車にも乗り込みSLの旅を楽しんでこられました。ゆっくりとした鉄道の旅、車内では心づくしのイベントも行われていました。さて、TOPにあるカラーバーは不要です。カラーバーは放送局間の機器の違いによる色の差異を調整するもので、人様に見せるものではありません。カウントダウンマークも同様です。今後は使用しないようにしましょう。

#### 13. 400年目の記録 (BD)

進藤信男 13分50秒

道頓堀が安井道頓によって私財を投げ開削されてから今年が400年目の記念の年だそうです。それを祝うために世界最大の盆踊りを開催しギネスブックに挑戦することにしました。第1回目の挑戦は1821名で栃木の1932名に届きません。そこで急遽会場から参加者を募り再挑戦。全員が5分間以上踊り、間違った人が5%いたら失敗とのこと。ギネス公式認定員と54名の監視員が審査し目出度く認定されました。今度は2025名参加とのことで、本当にお疲れ様でした。作品的には1回目の踊りはもっとカットして2回目の本番を活かした方がいいとのコメントでした。

#### 14. あばれ観音 (BD)

高瀬辰雄 8分30秒

祇園祭後祭り宵山の最後に行われる行事だそうです。南観音山の守り本尊、楊柳観音様(女性)を台座に縛って担ぎ、暴れまわる珍しい行事です。その由来は楊柳観音の北観音山(男性)への恋心を前もって暴れさせることで鎮め、巡行当日は静かにしてもらおうという説があるそうです。宵山のすべての行事が終わって深夜の12時頃から始ま

ります。作者は25年ぶりに訪れたが、この頃は見物人も僅かで自由に走り回って撮影できたとのこと。しかし今はよく知られ大勢の見物人が町内を埋め尽くしています。しかも今はビルの中で縛り付ける作業が行われ見ることが出来ない。そこで作者は25年前の8ミリビデオ映像を挿入して縛り付ける様子を見せてくれます。準備が出来たら黄色い布でぐるぐるに縛り付けられた観音様が担ぎ出され町内を3周します。何とも珍しい不思議な行事ですが京都らしいです。この作品ではHi8のシーンが大変よく効いています。何でも撮影し記録しておかないといけないうなあ、と教えられました。

## 9月第2例会レポート

ひところの暑さがうそのよう収まった9月17日午後1時から第2例会開催。今月の司会は柴辻氏、書記、前田氏、映写、西村氏、録画、江村氏、掲示、紙本氏、受付兼照明係は森口、宮崎の両氏、以上の皆さんで運営進行。

■出席者：有村、江村、植村、河合、紙本、合原、進藤、関、柴辻、西村(光雄)、華岡、高瀬、宮崎、坪井、前田、森口、山本の17氏と作品6本。

### ■第1部 研究会の部

「ビデオデータの保存とバックアップ」について体験談を語るということで3名の世話役が自らの実践方法を紹介しました。まず紙本世話役は：

・SD、HDVとも粗編集したものを都道府県別に分類してテープで保管。撮影場所、内容年月日、タイムを保管表に記入して後日の検索に使用している。AVCHDはPCに取り込んだファイルを整理削除してハードディスクE:に保管。完成作品は、BDとDVテープに書き出しそれぞれ保管している。次に森口世話役は：

・AVCHDカメラで撮影する時点でSDカード(他人とデータを共用する場合)と内臓メモリ(自分だけが使う場合)とに分けて撮影する。撮影した全ファイルは外部HDDに保管。編集済み完成作品は、①完パケ正本と、②正本からナレ、テロップ、BGMを抜いたもの(SEのみ)をroxio

media creatorでデータとしてDVDに書き出し保管する。後日再編集する場合は、このDVDからPCに取り込み、BGM、ナレ、テロップを挿入して再編集を完成させる。完成後はタイムライン、映像ファイルは速やかに削除している。余分なものは極力PCや外部HDDに残さないとのこと。前田世話役は：

・会員各位がどのようなPC、どんなアプリ、カメラからどの様にしてPCに取込んでいるか等々をアンケート調査。映像ファイルとタイムラインは安全のために2台のHDDに別々に保管している。HDDはデータが増えるので沢山要るが今は安いので逐次増やしているとのこと。各世話役のやり方がまったく異なるということが良く判ったと思います。何がベストなのかは各人が他人の方法も参考に自らが発見し実行することがよいと思われま。

### ■第2部作品上映(講評前田世話役)

#### 1. マンホール紀行③(BD)

紙本 勝 12分50秒

先月に引き続いて今回は第3集です。撮影地は、北陸・中部、京都府・滋賀地方で丹念に撮っています。各地市町村が工夫を凝らしたマンホールを15~16年前から撮られており、沖縄を除く全国を撮り終えたので逐次紀行作品に纏めておられます。DV時代からの撮影データをしっかり整理保存されていることは唯々感心するのみです。全都道府県で120個位は撮ってあるそうで、マンホールとそれに関連した地域の風物が良く溶け合っています。他の人には真似の出来ない年代の重みを感じる作品で、あと2作品で全5作品で完結とのこと。残り2本が楽しみです。各地の場所を地図で示してくれたらもっとわかり易かったです。

#### 2. 寅さんのふるさと(BD)

江村一郎 6分00秒

6月に開催された日本アマ連総会後に実施された任意撮影会を纏めました。7月例会で発表された「東京スカイツリー」の続編で東京の下町の一つ、かの有名な寅さんのふるさとと題して柴又帝釈天、寅さ

ん記念館、矢切の渡しなどを纏めています。人情豊かな下町を江村さんの視点で的確に切り取り作品にされています。BGMは寅さんの歌入りと歌なしの楽曲だけで纏めたのはいいアイデアだと司会のコメントでした。

### 3. 雪譜(BD)

有村博 4分09秒

4:3のDV映像を2つ並べて16:9のワイド映像作品にして観てもらいたいという実験作品です。15~16年前の雪山、霧氷等のDV映像を活かして作品にならないかとのアイデアに感心しました。作者は大変なアイデアマンで時折実験的映像を持参され驚きます。色々な組み合わせがあるのでDV映像を沢山所有している人は参考にされたら面白いとの司会のコメントがありました。途中でBGMの切れ目の部分を2秒ほどカットすればいいでしょう。画面は大変綺麗で2つずつの映像をしばしうっとり眺めて観賞しました。

### 4. 旧天王貯水池(DVD)

柴辻英一 10分00秒

DVワイドの作品(テープ)をSONY DVDレコーダーで録画したが、フル画面にならないのは何故だろうと持参されました。撮影場所は堺市内の旧天王貯水池で国の登録有形文化財だそうで明治43年に造られ昭和39年まで市民に水道水を供給していました。赤レンガ製アーチ造りの風格ある上水道施設です。作者はナレーションとインタビューが大変お上手でこの作品を盛り立てています。この日の施設見学イベントを大勢の人々が楽しんでいる様子が良く判るほのぼのとした作品です。映写画面がレターボックスになっていてスクリーンの75%位にしか表示されていない問題点は、元テープから一旦編集ソフトに取り込んでタイムラインの上で135%位に拡大し、もう一度DVDに書き出す以外に方法はないでしょう。画面が拡大されるので輪郭が少し甘くなりますが、若干シャープをかけて補正するといいと思います。

### 5. 今日の上海(BD)

山本正夢 5分40秒

今の上海の高層ビル全景から始まって街中に入っていきます。朝のいろんなサークルの活動風景を紹介しています。日中間の波風が高い中ですが、被写体の中国人に意識されることなく自然に街の情景、人々の姿がカメラに収められているのはさすがに山本さんだと感心しました。驚いたのは公園で適齢期の息子や娘を持つ親たちの子供の結婚相手探しです。釣書を掲示板や開いた傘の上に載せて相手の親たちの申し出を待つという親たちの出会いの場を作る行動で、その数の多さも驚きでした。一人っ子政策のためにより親達が一生懸命になるのでしょうか、親達の子供を思う気持ちを十二分に感じました。大変珍しい上海の情景を見せてもらいました。

### 6. 佐伯灯籠(BD)

高瀬辰雄 15分30秒

亀岡市の西にある稗田野町と吉川町に古くから伝わる佐伯灯籠という夏祭り今年8月14日に撮ってこられました。鎌倉時代に朝廷から灯籠を賜ったのが祭りの始まりだそうで、この地の地名に因んで「佐伯灯籠」と呼ばれています。御輿を始め5つの灯籠が担がれますが、人形浄瑠璃の舞台「台灯籠」は珍しいものです。この台灯籠を舞台にして竹串を使って一人で操る人形浄瑠璃はこの地に伝わる貴重な伝統文化で、30cmほどの小さな人形が生き生きと演じられます。江戸時代から始まったとされる佐伯人形浄瑠璃が今もって伝えられているのは素晴らしいことだと感心しました。しかし三人で操る文楽のシーンが比較のために2カット挿入されていますが、一人人形使いの情景が十分に描かれているので、流れが断ち切られ不要だろうと思います。夜の公演が終わると子孫繁栄を祈願する男女和合の神事「太鼓掛け」も紹介されますが、判りにくい神事です。夜に太鼓の乱打があって映像としての迫力はあるのですが、表現が難しいなあと考えてしまいました。もう少し整理して12分位にすればさらに印象に残る作品になると思います。